

# 5号機緊急時対策所について

2017年11月9日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

**TEPCO**

---

## 緊急時対策所に求められる主な機能について

新規制基準において、緊急時対策所に求められる主な機能は以下のようになります。  
5号機緊急時対策所にも、免震重要棟と同様の設備を導入し、緊急時の対応に備えます。

### 【 耐震性 】

基準地震動に対する十分な耐震性

#### 【 居住性 】

必要人員が留まることができる  
広さと居住性の確保

#### 【 非常用電源 】

外部電源喪失時に代替交流電源から  
給電できる設備の設置

#### 【 外部伝送設備 】

発電所に関する情報を外部へ発信  
するために必要な設備の設置

#### 【 放射線管理 】

緊急時における除染やサーベイなどを  
処置するための場所を設ける

#### 【 通信連絡設備 】

発電所内・外と情報共有するための  
通信連絡設備の設置

#### 【 資機材確保 】

水・食料などを含めた滞在・復旧活動  
に必要な資機材の確保

## 5号機緊急時対策所の概要

発電所で想定する地震動に対応できるように、剛構造の緊急時対策所を設置

設置場所：5号機原子炉建屋

床面積：約270m<sup>2</sup>

収容人数：86名+90名（6号機および7号機の2プラント運転時における緊急時対策所本部要員および現場要員（原子力規制庁（NRA）含む））

設置設備：プラント安全パラメータ表示システム

可搬型モニタリングポスト

衛星電話・無線連絡設備

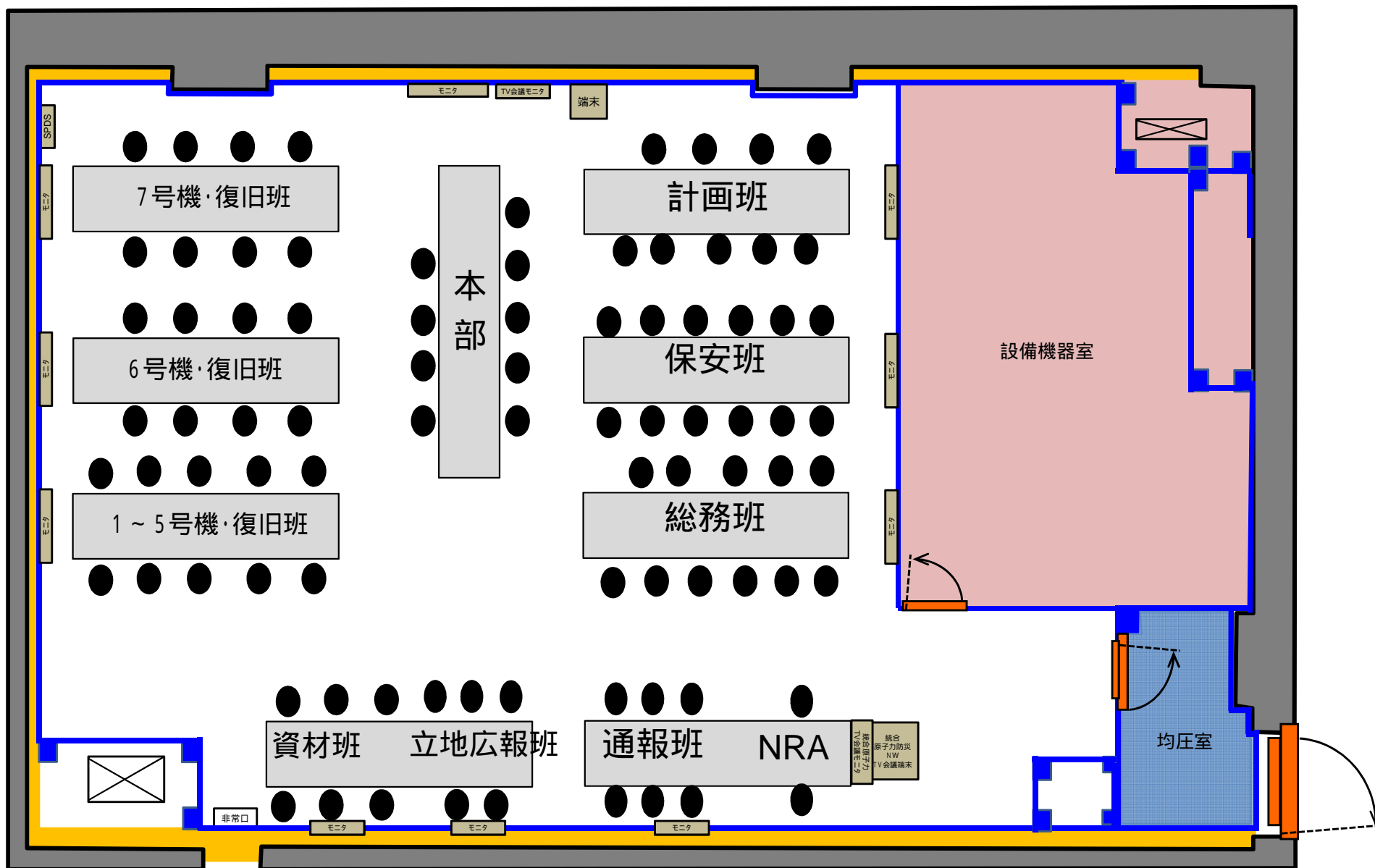
統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備

データ伝送設備

居住性設計：7日間で100mSv以下

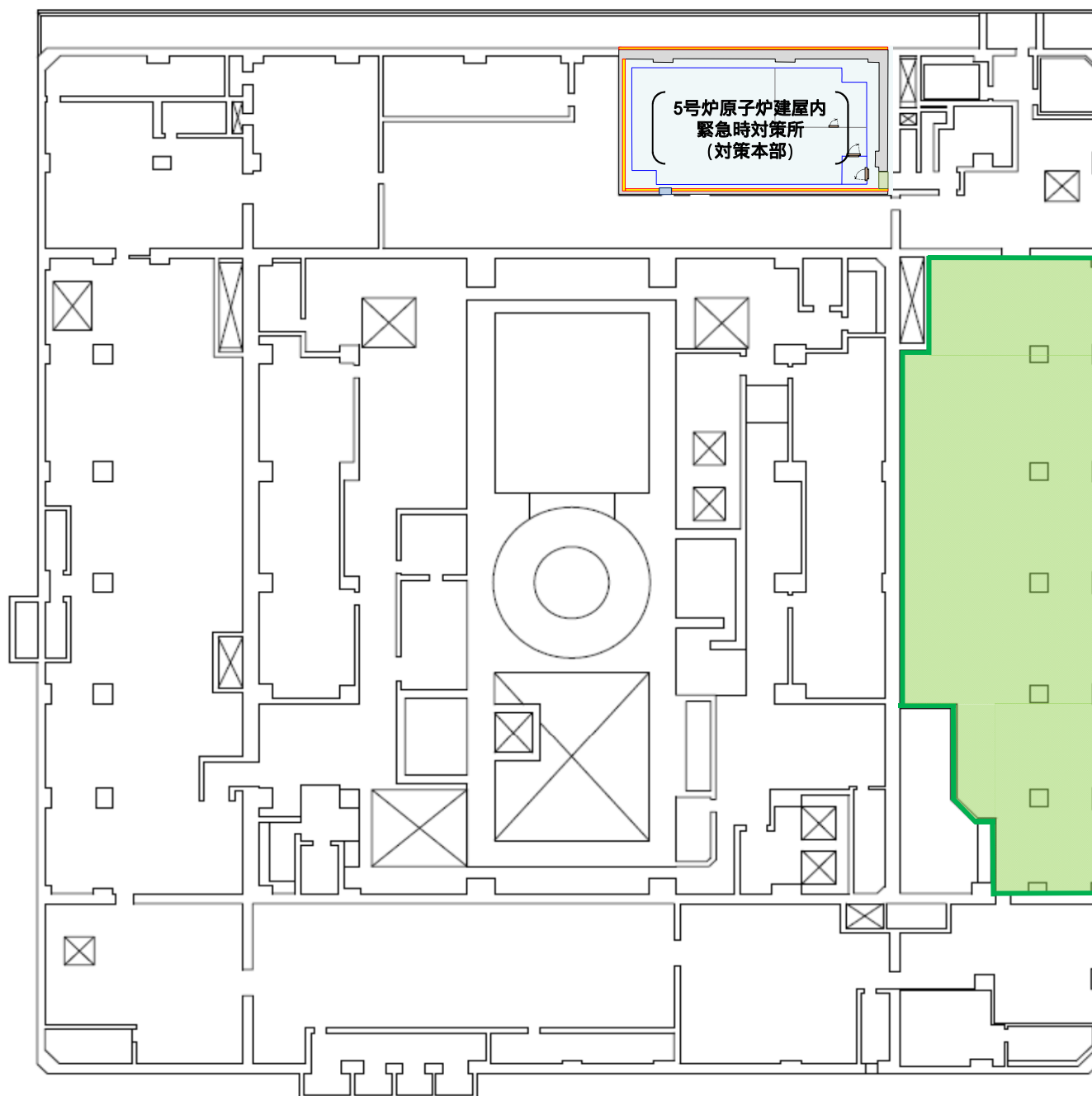
現場要員の待機場所を設置する

# 5号機緊急時対策所のレイアウト案

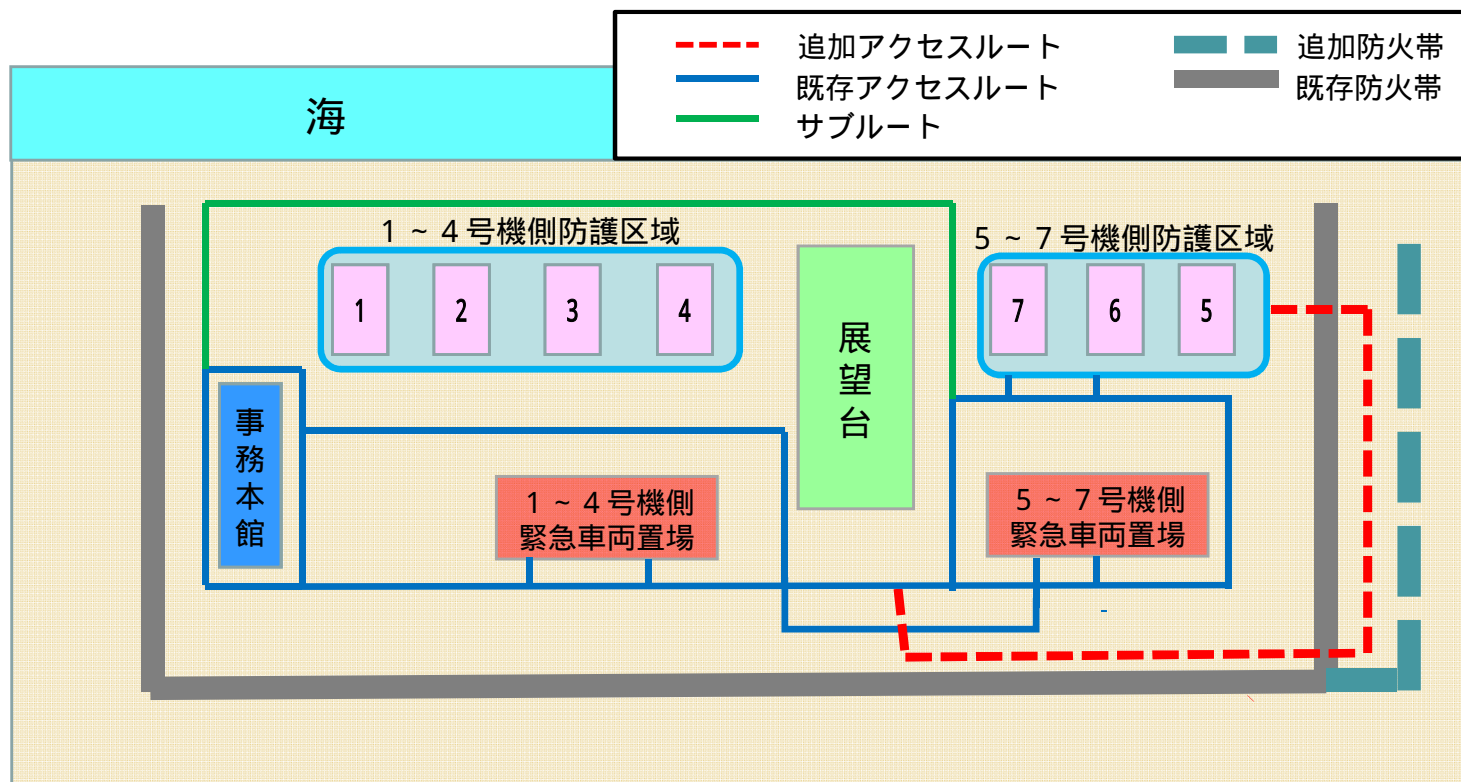


● : 対策要員

# 5号機緊急時対策所待避エリアのレイアウト案



5号機緊急時対策所へのアクセスルートは現在2方向からアクセスできるが、徒歩による別経路での移動も可能となるよう追加アクセスルートを整備  
追加アクセスルートを森林火災から防護するため、追加防火帯を整備



主なアクセスルート・防火帯のイメージ図



防火帯着手前



防火帯着手後



緊急時対策所の工事状況

緊急時対策所のレイアウト案





事態収束のための運転操作、  
設備操作を指示する号機統括  
および復旧班

対応戦略を指示する本部長

注) 訓練時は工事のため、本設照明が  
撤去された状態であったため仮設  
照明を確保。



K 5 緊急時対策所において平成 29 年 9 月 28 日に訓練を実施した。  
緊急時対策所の広さが事故対応に影響しないことを確認することが出来た。